

令和5年3月

湯梨浜町議会定例会

令和5年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町
【生涯学習・人権推進課】

令和5年度 一般会計

当初予算参考資料 目次

歳出予算

款	項	ページ
3. 民生費		
	1. 社会福祉費	1
	2. 児童福祉費	4
5. 農林水産業費		
	1. 農業費	6
7. 土木費		
	4. 都市計画費	7
9. 教育費		
	4. 社会教育費	9
	5. 保健体育費	4 0
	6. 人権教育費	5 0

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	
事業	大	0122	解放同盟支部活動費			(簡略番号：005941)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	民一社会福祉費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

同和問題の早期解決のために支部が行う大会参加、研修会、学習会等の活動に対し、円滑に実施できるよう交付する補助金である。

【事業の必要性】

各種研修会へ参加し同和問題の現状、課題等を知り部落差別の解消や課題解決に資する活動を行っていくために必要である。

- ## 2. 根拠法令

部落解放同盟支部活動費補助金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【湯梨浜町あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】 同和問題

SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

部落問題の早期解決に資することができる。

【令和4年度評価】

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年計画されている各種大会、研修会の多くが中止になったが、3年ぶりに開催された人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会には支部として参加できたため、その成果を総会等で報告することで課題等を共有していく。また、今年度からの新事業であった人権・同和教育講座を次年度こそは開催していきたい。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】155千円

8 同和対策費		所属 0101013000-0000		生涯学習・人権推進課（人権		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	155	232	△77	128	8
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	155	232	△77	128	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	155	155
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	155	155

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		78	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款	01項	08目	012200000	事業	解放同盟支部活動費
-----	-----	-----	-----------	----	-----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	
事業	大	0010	隣保館管理運営經常經費			(簡略番号：006015)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	經常的經費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	民一社会福祉費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

文化会館事業として行う啓発事業、伝統文化の教室、交流促進のためのものづくり教室等に係る講師謝金及び施設の適切な維持管理に係る経費である。

【事業の必要性】

対象地域住民とその近隣地域住民に対し住民交流の拠点として供し、福祉・文化・生活の向上を図り、併せて同和問題解決のための啓発の拠点として事業を展開するため必要である。

- ## 2. 根拠法令

社会福祉法、隣保館施設運営（通知）
湯梨浜町立隣保館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題

SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

同和問題に対する理解や住民交流が促進され、また福祉・文化・生活の向上や同和問題の速やかな解決に資することができる。

【令和4年度評価】

隣保館の運営に必要な維持管理を適正に行うとともに、ものづくり教室などの事業をとおして住民交流を促進することができた。

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 2千円（文化会館使用料）

【県補助金】1,725千円（隣保館運営補助金）

9 隣保館運営費		所属 0101013000-0000		生涯学習・人権推進課（人権		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,727	1,607	120	1,764	1,786
	国庫支出金					
	県支出金	1,725	1,219	506	1,219	
	地方債					
	その他	2	2		2	
	一般財源		386	△386	543	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	13	13	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	1	1	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,250	1,250	25 寄附金		
11 役務費	193	193	26 公課費	9	9
12 委託料	228	228	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	33	33	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,727	1,727

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県隣保館運営費等補助金				
補助基本額	2,300	補助率	75.0%	補助金額	1,725

【実施計画】

実施計画	部		79	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款	01項	09目	001000000	事業	隣保館管理運営經常経費
-----	-----	-----	-----------	----	-------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	
事業	大	0023	部落解放文化祭事業			(簡略番号：006100)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	民一社会福祉費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

同和問題の解決のための啓発や地域との交流を行うため、住民の作品展示、ステージ発表など湯梨浜町部落解放文化祭を実施するための必要経費である。

【事業の必要性】

部落解放に向けて育まれてきた伝統文化や年間を通して取り組まれてきた地区内の諸団体の活動などの成果発表の場及び町内関係団体の参画により部落解放への理解を深める場として必要である。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志

【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題

SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

各種の学習成果を発表することで地域住民及び周辺住民との交流が図られ、差別解消に向けた効果が期待される。

【令和4年度事業評価】

新型コロナウイルス感染症予防のため、前年度に引き続き例年実施しているステージ発表やバザーは中止したが、東郷地域の各こども園、保育園、東郷小学校、各種団体等の表現、創作活動などの作品展示により、地域の文化に触れるとともに人権意識の向上につながった。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】106千円

9 隣保館運営費		所属 0101013000-0000		生涯学習・人権推進課（人権		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	106	106		106	5
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	106	106		106	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	90	90	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	16	16	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	106	106

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		79	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款	01項	09目	002300000事業	部落解放文化祭事業
-----	-----	-----	-------------	-----------

現年	当初予算
100	100
90	90
80	80
70	70
60	60
50	50
40	40
30	30
20	20
10	10
0	0

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	
事業	大	0010 田畑児童館管理運営経常経費					(簡略番号：007187)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	民一児一その他		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

遊びの提供などを主に行い、児童の健全育成に資するため児童厚生員を配置し事業を行う。会計年度任用職員（児童厚生員）1名分の報酬及び施設の光熱水費及び修繕等の維持管理費及び音楽リズム遊び、おはなし会等の講師謝礼、Jパラダイスの教材費など事業実施経費である。

【事業の必要性】

健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。

- ## 2. 根拠法令

児童福祉法

湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】同和問題

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画効果】

児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。

【令和4年度事業評価】

一昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のために事業実施を中止した月もあったが、可能な限り児童を対象に創作活動や運動あそびなどにより、子どもの自主性や社会性を身につけさせることができた。また、未就学児対象の「音楽リズム遊び」、「おはなし会」により子どもの運動能力や情操を高めることができた。

- ## 6. 財源の説明

【諸 収 入】 3千円

【一般財源】2,969千円

5 児童館費		所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課（人権		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	2,972	2,842	130	2,872	2,766
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3	10	△7	1	
	一般財源	2,969	2,832	137	2,871	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,721	1,721	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	340	340	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	359	359	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	27	27	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	54	54	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	444	444	25 寄附金		
11 役務費	27	27	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,972	2,972

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		94	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款 02項 05目 001000000事業 田畑兒童館管理運営經常經費

	現年	当初予算
(一) 建設費	70,689,000	70,689,000
(二) 維持費	1,000,000	1,000,000
(三) 雑費	1,000,000	1,000,000
(四) 臨時費	1,000,000	1,000,000
(五) 予備金	1,000,000	1,000,000
(六) その他	1,000,000	1,000,000
合計	74,689,000	74,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	
事業	大	0015 浜児童館管理運営経常経費				(簡略番号：007261)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	民一児一その他			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

館長、児童厚生員2名の給与等、施設の光熱水費及び建物共済等の維持管理費並びに手づくりタイムなどの事業に要する経費。

(主なもの)

報酬 3,404千円、職員手当等 499千円、共済費 377千円
報償費 15千円、旅費 90千円、需用費 340千円、役務費 62千円
委託料 16千円

【必要性】

健全な遊びを通して児童の健康増進と情操を豊かにするため。
遊具の安全を確保し、児童が安心して過ごせる環境を整える。

- ## 2. 根拠法令

児童福祉法

湯梨浜町立児童館の設置及び管理に関する条例、管理運営に関する規則

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画】 部落の完全解放の実現

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

児童の健康増進と情操の豊かさが図られる。

【令和4年度評価】

児童の豊かな情操と健全なる心身の育成増進を図ることができた。

来館者数 R4 1,070人 (11月末時点)

R3 1,749人

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 4.803千円

5 児童館費		所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課（人権		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	事業費	4,803	4,293	510	4,360	4,292
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,803	4,293	510	4,360	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,404	3,404	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	499	499	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	377	377	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	15	15	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	90	90	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	340	340	25 寄附金		
11 役務費	62	62	26 公課費		
12 委託料	16	16	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,803	4,803

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		95	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

03款 02項 05目 001500000事業 滬兒童館管理運營經常經費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	
事業	大	0112	はわいトレーニングセンター管理経常経費				(簡略番号: 010264)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

施設の光熱水費、建物共済等の維持管理費。

需用費 956,000円（消耗品費43,000円、光熱水費863,000円、修繕料50,000円）

役務費 61,000円（モップ交換手数料21,000円、建物災害共済40,000円）

委託料 84,000円（消防用設備・清掃委託84,000円）

【事業の必要性】

町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として維持管理することが必要。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町農林漁業者トレーニングセンターの設置及び管理に関する条例・施行規則

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画効果】 良好な施設の提供が図られる。

【令和4年度評価】

町民のスポーツを通じた健康増進とスポーツによる人材育成及び生涯スポーツの普及と推進を図るための施設として定期的な点検、整備、清掃等、維持管理を実施し良好施設提供に努めた。

- ・年間利用件数 574件（定期利用団体13団体、その他一般利用）
- ・年間利用者数 6,333人（見込み）

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 303千円

【一般財源】 798千円

6 農業施設管理費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,101	834	267	1,005	782
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	303	334	△31	334	
	一般財源	798	500	298	671	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	956	956	25 寄附金		
11 役務費	61	61	26 公課費		
12 委託料	84	84	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,101	1,101

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		116	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 06目 011200000事業 はわいトレーニングセンター管理経常経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	
事業	大	0021 東郷運動公園指定管理等経費				(簡略番号：029450)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	土・都・公園費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。

(期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間)

指定管理者制度は平成22年度から導入しており、今年度は4期目の1年目となる。

指定管理委託料 13,700千円

(内訳) 収入 計 16,300千円 (施設使用料等 指定管理委託料)

支出計 16,300千円 (人件費 委託費 原材料費 管理費等)

【事業の必要性】

民間事業者の視点・経験を活かして施設の魅力を最大限に活用しながら、大会や合宿等を誘致し利用者の増加を図り、町のスポーツ振興及び観光産業等の活性化を図るため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町都市公園条例 湯梨浜町東郷運動公園施設の設置及び管理に関する規則

湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続きに関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画】東郷運動公園を指定管理者制度により管理・運営を行う。

【効果】町のスポーツ振興及びスポーツを拠点とした観光産業等の活性化が図られる。

【令和4年度評価】

コロナ禍ではあったが、対策を行いながら大会や合宿の誘致が図られた。

施設利用者数 (R4見込)	町内者	3,300人	町外者	21,000人	合計	24,300人
(R3実績)		2,679人		17,409人		20,088人

合宿利用者数（町内旅館宿泊利用者数）（R4見込 延1,000泊 R3実績 延334泊）

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 1千円（公園内土地占用料）

【繰入金】9,056千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

【一般財源】4,643千円

3 公園費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	13,700	12,300	1,400	12,300	12,300
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債		3,000	△3,000	3,000	
	その他	9,057	8,616	441	6,746	
	一般財源	4,643	684	3,959	2,554	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,700	13,700	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	13,700	13,700

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		131	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

07款	04項	03目	002100000事業	東鄉運動公園指定管理等經費
-----	-----	-----	-------------	---------------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	07	土木費	項	04	都市計画費	目	
事業	大	0022 東郷運動公園管理臨時経費				(簡略番号：030761)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	土一都一公園費			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

安全かつ計画的に施設の利用を促進するべく、公園整備（天然芝、公園内植栽等）への水やりを行う灌漑用ポンプが経年劣化により破損しているため購入するもの。

【事業の必要性】

利用者の安全な利用、円滑な事業実施をするため、適切な維持管理が必要。

2. 根拠法令

湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例 同施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

民間事業者の視点を活かした大会や合宿の誘致などにより利用者並びに宿泊客の増加が図られる。

【令和4年度評価】

長寿命化計画策定し、今後の運動公園の計画的な維持管理・利用者の安全かつ円滑な事業実施に資することができた。

6. 財源の説明

【一般財源】 2,191千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,191	9,019	△6,828	8,585	993
財源内訳					
国庫支出金		4,500	△4,500	4,100	
県支出金					
地方債		4,500	△4,500	3,200	
その他					
一般財源	2,191	19	2,172	1,285	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	2,191	2,191
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,191	2,191

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020401001	社会資本整備総合交付金		4,500
地方債	21010604016	過疎対策事業債（東郷運動公園）		4,500

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

131

07款 04項 03目 002200000事業 東郷運動公園管理臨時経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0010	社会教育総務経常経費			(簡略番号：014855)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【概 要】

生涯学習・人権推進課が行う社会教育事業推進のため、事務局職員として関係業務を行うパートタイム会計年度任用職員1人の給与等を計上するもの。

【必要性】

生涯学習・人権推進課が行う事業推進の確実な遂行のために、人的措置が必要である。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画】

社会教育計画実施事業を行う。

【效果】

社会教育事業全般にかけて、着実な事業実施が図られる。

【令和4年度評価】

社会教育全般の事務補助及び文化財保存活用事業（十万寺城発掘調査等）の補助を行い、円滑な事業・事務の遂行が図れた。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】2,501千円

1 社会教育総務費		所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	事業費	2,501	5,040	△2,539	3,381	4,769
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,501	5,040	△2,539	3,381	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,700	1,700	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	340	340	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	348	348	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	88	88	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	16	16	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,501	2,501

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		149	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	01目	001000000	事業 社会教育総務經常経費
-----	-----	-----	-----------	---------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0012	二十歳のつどい開催費				(簡略番号：014874)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

令和6年二十歳のつどい（平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの町内在住者または町内小中学校卒業生、約209人を対象に令和6年1月3日ハワイアロハホールで実施予定）に要する経費。また、新たに成年となる18歳を迎える者に対する啓発等を行う通知の経費。（主なもの）

報償費 492,000円（記念品代 165,000円、記念写真代 322,325円 等）

需用費 65,000円（しおり印刷 26,400円、成人リーフレット印刷 18,480円、生花 18,000円 等）

役務費 58,000円 (郵便代 57,050円)

【事業の必要性】

20歳という年齢は、飲酒や喫煙を含めすべての年齢制限がなくなる節目の年齢であり、自分に責任を持つことのできる自立した社会人として成長した青年を町全体で祝い励まし、なつかしい仲間と顔を合わせることで、ふるさとへの愛着を育む機会とする。また、成年年齢引き下げにより新たに成年となる18歳を迎える者に、大人としての自覚を促す必要がある。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

20歳という節目の年に、自分に責任を持つことのできる自立した社会人として成長した青年を祝い励ます会を開催し、なつかしい仲間と会うことで、ふるさとへの愛着を育むことができる。また、新たに成年となる18歳を迎える者に対する啓発等を行う。

【令和4年度事業評価】

令和5年二十歳のつどいは、令和5年1月3日に集合開催。出席者156名（対象者206名）

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 615千円

1 社会教育総務費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	615	566	49	566	553
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	615	566	49	566	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	492	492	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	65	65	25 寄附金		
11 役務費	58	58	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	615	615

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		149	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 001200000事業 二十歳のつどい開催費

令和 5年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	01 社会教育総務費
事業	大 0205 町女性団体連絡協議会補助金 (簡略番号：015226)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	243	243		243	110
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	243	243		243	

【事業概要】					
1. 事業の概要と必要性					
【事業概要】					
町内の各種女性団体で構成する、湯梨浜町女性団体連絡協議会の運営に要する経費の補助を行う。					
主な活動：女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」作成、クリーン活動、国際交流、視察研修、町長と語る会					
補助金 243,000円					
【必要性】					
町内女性の資質向上と地域社会の発展に寄与するため。					
2. 根拠法令					
社会教育法					
3. 用地の状況					
4. 基本計画との関連					
【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり (地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)					
SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」					
5. 本年度の計画効果					
【本年度の計画】					
女性フォーラムの開催、広報紙「白鳥」の作成、町事業等への協力、各支部の活動、視察研修、町長と語る会など					
【事業の効果】					
町内女性の活動支援と地域社会の発展に資することができる。					
【R4年度事業評価】					
町女性団体主催の女性フォーラム、広報紙「白鳥」の作成及び各種研修活動を支援することで、女性の地域社会での活躍を推進することができた。					
6. 財源の説明					
【一般財源】243千円					

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	243	243
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	243	243

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】				
実施計画	部		150	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 01目 020500000事業 町女性団体連絡協議会補助金

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0208	全国大会等派遣補助金			(簡略番号：015234)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	未設定		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

スポーツ又は文化に係る全国規模の大会に参加する選手・演奏者・指導者等に対し、参加費・交通費、宿泊費を補助対象経費として、補助金の交付を行う。

補助金 400,000円（全国大会：補助金上限一人当たり20,000円 20人予定）

【事業の必要性】

本町社会教育及び社会体育の振興発展に寄与するため。
全国規模の大会に出場する者への経済的負担を軽減し、町として応援、支援するた
め。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町全国大会等派遣補助金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
SDGs 目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

大会へ参加する者の経済的負担を軽減し、大会等に参加しやすい環境整備を図ることで本町社会教育及び社会体育の振興発展に資することができる。

【令和4年度評価】

小、中学生を中心に4競技、19名の全国大会出場者に対し補助金を交付し大会等に参加しやすい環境整備を図ることができた。(12月上旬時点)

令和4年度末	見込	9競技	30名	586千円	R3年度	7競技	28名
					R2年度	3競技	21名

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 400千円

1 社会教育総務費		所属 0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	400	400		620	530
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	400	400		620	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	400	400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	400	400

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		150	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	01目	020800000事業	全国大会等派遣補助金
-----	-----	-----	-------------	------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費		項	04	社会教育費		目
事業	大	0211 放課後こども教室推進事業		(簡略番号：040369)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続		臨・経	
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定			
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

町内で放課後子ども教室を開設。東郷地域2箇所（舎人、大介）、羽合地域3箇所（長瀬、東田後、橋津）、泊地域1箇所（宇谷）の計6教室を開設し、各教室に学習アドバイザー、安全管理員を配置して取り組む。事業に係る経費の2/3が県補助金。

【事業の必要性】

放課後や長期休暇等に公民館等を活用し、子ども達の安全な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツや地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子ども達が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するために実施する。

2. 根拠法令
社会教育法
3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【今年度の事業計画】

子ども教室の開設を行い、活動拠点（居場所）の確保、放課後等の学習指導、自然体験活動支援、文化活動支援など子ども達の放課後活動の充実とともに、地域社会全体で様々な教育支援活動の実施により、地域の教育力の向上が図られる。

【R4年度評価】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東田後区寺子屋子ども教室が休止し、他教室でも小学校休学中は休止するなど実施回数は減ったが、できる範囲内で放課後等の見守りや家庭学習支援の環境作りが図られた。

- ## 6. 財源の説明

【県補助金】1,686千円 学校・家庭・地域連携協力推進事業（放課後子ども教室）

【一般財源】 843千円

1 社会教育総務費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	2,529	2,679	△150	1,302	1,139
	国庫支出金					
	県支出金	1,686	1,786	△100	867	
	地方債					
	その他					
	一般財源	843	893	△50	435	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	2,391	2,391	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	138	138	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,529	2,529

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金				
補助基本額	2,529	補助率	66.6%	補助金額	1,686

【実施計画】

実施計画	部		150	実施計画
	章			計上額
	節			
	細節			

09款	04項	01目	021100000事業	放課後こども教室推進事業
-----	-----	-----	-------------	--------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0010	中央公民館管理運営経常経費			(簡略番号：015325)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

施設の保守点検及び修繕、警備員等賃金、施設の光熱水費等の維持管理費
利用者への良好な施設提供をするための備品購入費等

【事業の必要性】

生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供するため。

【実施期間】 令和5年度

【全体事業費】10,529千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】

志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

目標 1.1 「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画】 施設の維持管理を行う。

【効果】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。

【令和4年度評価】

施設の保守点検や修繕等維持管理を行い、社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として、多くの利用者に良好な施設の提供を行った。

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 317千円

【諸 収 入】 161千円

【一般財源】10,051千円

2 公民館費		所 属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	10,529	10,194	335	9,589	9,649
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	478	780	△302	632	
	一般財源	10,051	9,414	637	8,957	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2, 967	2, 967	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	800	800
03 職員手当等	340	340	18 負担金、補助及び交付金	3	3
04 共済費	362	362	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2, 940	2, 940	25 寄附金		
11 役務費	697	697	26 公課費		
12 委託料	2, 070	2, 070	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	350	350	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	10, 529	10, 529

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		151	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 001000000事業 中央公民館管理運營經常經費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目
事業	大	0011 中央公民館管理運営臨時経費				(簡略番号：015371)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】 下記の工事等を行い、施設利用者の安全安心・利便性を図る。

①中央公民館高圧受電設備ほか改修工事

【事業の必要性】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に施設を提供する。

【実施期間】令和5年度 【全体事業費】25,740千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】

志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

目標 1-1 「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

①中央公民館高圧受電設備ほか改修工事

【事業の効果】

生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。

【令和4年度評価】

ホール・通路・第2研修室照明器具のLED化を行い、老朽化した施設を社会教育活動の場として、利用者に良好に提供するための安全管理に努めた。

- ## 6. 財源の説明

【地方債】25,700千円（過疎対策事業債）

【一般財源】 40千円

2 公民館費		所 属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	25,740	3,526	22,214	4,213	7,994
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	25,700	3,100	22,600	3,000	
	その他					
	一般財源	40	426	△386	1,213	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課金		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	25,740	25,740			
15 原材料費			合 計	25,740	25,740

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		152	実施計画
	章			計上額
	節			
	細節			

09款 04項 02目 001100000事業 中央公民館管理運営臨時経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0014 中央公民館全体事業				(簡略番号：033666)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

【事業内容】 60歳以上の町民を対象とした「湯梨浜文化大学」や囲碁・将棋大会、ゆりはま文化芸能祭（住民作品展・芸能大会）等を実施し、住民参加による事業の推進とコミュニティ形成の支援を行う。

【事業の必要性】

町民全体を対象とした教育や文化に関する各種事業を実施し、住民の交流や文化の向上等を図るため必要である。

【実施期間】令和5年度

【全体事業費】1,053千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたる学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

目標11 「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

湯梨浜文化大学…教養コースと趣味コース（グラウンド・ゴルフ等）の講座の開催。

ゆりはま文化芸能祭…文化芸能の発表の場として、住民作品展・芸能大会を開催。

囲碁・将棋大会…囲碁・将棋の愛好者を募り年1回開催する。

【令和4年度評価】

湯梨浜文化大学（会員数261人）

住民作品展 (11/16~11/23開催 801人 1,089点出展)

芸能大会 (11/20開催 31団体 152人出演)

囲碁・将棋大会 (8/7開催 19人参加)

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】1.053千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,053	1,036	17	830	688
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,053	1,036	17	830	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	870	870	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	100	100	25 寄附金		
11 役務費	83	83	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,053	1,053

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		152	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	02目	001400000事業	中央公民館全体事業
-----	-----	-----	-------------	-----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0016 東郷地域各種事業				(簡略番号：015379)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

社会教育を充実させるため、地域活性化推進員と連携し、中央公民館を拠点として東郷地域を対象とした教室や講座、講演会等を実施し、町民に学習の場を提供する。

東郷地域公民館運営委員会を開催し、各種事業の企画実施について協議・検討を行う。

活性化推進員4人、成人教育34回、家庭・青少年教育5回、体育・レクリエーション11回
出前講座 4地区×4回

【事業の必要性】

町民のニーズを把握しながら実生活に即した教育や文化等に関する各種事業を実施し、もって住民の教養や交流促進を図るため。

【実施期間】令和5年度

【全体事業費】 4,291千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

目標 1.1 「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

成人教育…伝統文化の継承や心豊かにする趣味講座、健康教室等楽しく学習する。

家庭・青少年教育…家庭教育や自然体験等を実施し、地域で青少年を育てる。

体育・レクリエーション…誰でも気軽に参加できるスポーツ教室等を開催する。

出前講座…各地区において、各種講座等を開催し、地域住民の交流促進を図る。

【事業の効果】住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。

【令和4年度評価】住民の関心が高い「健康」や「趣味」などを中心とした事業を実施、また、東郷小学校児童を対象とした教室を開催し社会教育の充実を図った。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】4,291千円

2 公民館費		所屬	0101012800-0000	中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,291	4,177	114	3,761	3,730
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,291	4,177	114	3,761	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,485	3,485	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	11	11	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	638	638	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	78	78	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	66	66	25 寄附金		
11 役務費	13	13	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,291	4,291

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			152	実施計画 計上額
	章				
	節				
	細節				

09款	04項	02目	001600000事業	東鄉地域各種事業
-----	-----	-----	-------------	----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0032	文化団体協議会等補助金			(簡略番号：015422)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

加盟文化サークル等の活動に要する費用の助成、加盟団体相互の学習、会員拡大事業、住民作品展・芸能大会の開催、協議会たよりの発行を行うものである。

42団体×6,000円

【事業の必要性】

地域における文化の振興育成、普及、向上並びに各種文化団体相互の連携と親睦を図り、地域の文化発展に寄与する。

【実施期間】令和5年度

【全体事業費】 382千円

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標1「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

ゆりはま文化芸能祭の開催予定（住民作品展11/15～11/21、芸能大会11/19）

協議会だよりの発行（3月予定） 会員研修（年2回予定）

【事業の効果】

地域の文化団体の活動を支援することにより、住民の社会参加、文化振興に寄与することができる。

【令和4年度評価】

各サークル等の日頃の活動の発表の場として、ゆりはま文化芸能祭実施することにより、地域の文化発展に寄与することができた。

会員拡大促進事業を実施し協議会の活性化を図った。R4年度 42団体

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】 80千円（市町村創生交付金）

【一般財源】 302千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	382	488	△106	488	470
	国庫支出金					
	県支出金	80	135	△55	137	
	地方債					
	その他					
	一般財源	302	353	△51	351	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	382	382
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	382	382

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金（文化団体協議会育成補助金）				
補助基本額	382	補助率	21.0%	補助金額	80

【実施計画】

実施計画	部		153	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 003200000事業 文化団体協議会等補助金

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	02 公民館費
事業	大 0110 羽合分館管理運営経常経費 (簡略番号：015455)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

会計年度任用職員・警備員報酬並びに施設の光熱水費及び館内清掃・修繕などの維持管理費。

【事業の必要性】

生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供するため。

【実施期間】

令和5年6,509千円

2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】施設の維持管理を行う。

【事業の効果】生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また、町民が集いやすい施設として、コミュニティ機能を強化する。

【令和4年度評価】施設の保守点検や修繕等維持管理を行い、社会教育活動の場所及び地域の拠点施設として、多くの利用者に良好な施設の提供を行うことができた。

6. 財源の説明

【使用料】 263千円

【諸収入】 44千円

【一般財源】 6,202千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,509	6,075	434	6,301	5,836
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	307	354	△47	354	
一般財源	6,202	5,721	481	5,947	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,556	2,556	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	336	336	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	360	360	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	3	3	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,100	2,100	25 寄附金		
11 役務費	121	121	26 公課費		
12 委託料	918	918	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	115	115	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,509	6,509

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602201	中央公民館羽合分館使用料	263	312
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	44	42

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額

153

09款 04項 02目 011000000事業 羽合分館管理運営経常経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0116 羽合地域各種事業				(簡略番号：015506)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

羽合地域の社会教育・生涯学習を充実させるため、中央公民館羽合分館を拠点として地域活性化推進員と連携し、各種の教室や講座、講演会等を実施し、町民に学習の場を提供する。

活性化推進員7人、成人教育16回、家庭・青少年教育14回、体育・レクリエーション8回、出前講座28回。

【事業の必要性】地域・町民のニーズを把握しながら、教育や文化に関する各種事業を実施し、教養を養ったり地域住民の交流促進を図るものである。

【実施期間】令和5年度

【全体事業費】6,849千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

目標11「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

成人教育：心豊かにする趣味講座、健康教室など楽しく学習する。

家庭・青少年教育：体験学習、自然体験などを実施し、地域で青少年を育てる。

体育・レク：誰でも気軽にできるスポーツ、健康教室などを開催する。

出前講座：各地区において各種講座などを実施し、地域住民の交流促進を図る。

【事業の効果】住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。

【令和４年度評価】コロナ禍において十分な対策をとりながら住民の関心度の高い「健康」「趣味」等を中心とした事業を実施し、社会教育の充実が図られた。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】6.849千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,849	6,680	169	6,300	6,360
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	6,849	6,680	169	6,300	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	6,099	6,099	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	19	19	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	565	565	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	74	74	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	77	77	25 寄附金		
11 役務費	15	15	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,849	6,849

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		153	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	02目	011600000	事業	羽合地域各種事業
-----	-----	-----	-----------	----	----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目
事業	大	0210 泊分館管理運営經常經費				(簡略番号：015595)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	未設定		事業の種類	未設定		
補助单独区分			目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

泊分館での公民館事業を行い、社会教育活動の拠点として施設の利用提供を行う。
会計年度任用職員及び警備員報酬、光熱水費、警備委託料や清掃委託料などの維持管理
経費。

【事業の必要性】

生涯学習及び社会教育の拠点として良好に施設を提供する。

【実施期間】令和5年度

【全体事業費】9,434千円

- ## 2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

目標11 「住み続けられるまちづくりを」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

泊地域の生涯学習及び社会教育の拠点施設として、公民館活動を展開及び推進する。

【事業の効果】

生涯学習及び社会教育の拠点施設として良好に提供できる。また、町民が集いやすい施設として、コミュニティー機能を強化する。

【令和4年度評価】

令和4年4月25日にオープンした新泊分館で公民館事業を実施し、社会教育活動の場所及び、地域の拠点施設として、利用者に良好な施設の提供を行うことができた。

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 173千円

【諸収入】 211千円

【一般財源】 9.050千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	9,434	7,851	1,583	8,188	2,173
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	384	338	46	219	
	一般財源	9,050	7,513	1,537	7,969	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3, 598	3, 598	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	340	340	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	345	345	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	27	27	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2, 736	2, 736	25 寄附金		
11 役務費	294	294	26 公課費		
12 委託料	1, 605	1, 605	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	489	489	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	9, 434	9, 434

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602402	中央公民館泊分館使用料	173	69
諸収入	20050302011	中央公民館雑入	162	220
諸収入	20050302473	自動販売機使用電気料（泊体育	13	13
諸収入	20050302475	自動販売機使用電気料（中央公	36	36

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		154	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	02目	021000000	事業	泊分館管理運営經常経費
-----	-----	-----	-----------	----	-------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0212 泊地域各種事業				(簡略番号：015658)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

社会教育の充実及び地域コミュニティを高めていくため、泊分館を拠点に泊地域における各種の教室や講座、講演会等を実施するものである。活性化推進員1人。

成人教育16事業(17回)、家庭・青少年教育4事業(4回)、体育・レク事業5事業(7回)、出前講座4回。

【事業の必要性】

実生活に即した教育や文化に関する各種事業を実施し、もって住民の教養や地域住民の交流促進を図るものである。

【実施期間】 令和5年度

【全体事業費】1,241千円

2. 根拠法令

社会教育法、湯梨浜町公民館の設置及び管理に関する条例。

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

目標11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

地域活性化推進員、公民館運営委員と連携し、さらなる事業推進と活性化を図る。

- ・成人教育:心豊かにする講座等楽しく学習する。
- ・家庭・青少年教育:自然体験などを実施し、地域の青少年を育てる。
- ・体育・レク:誰でも気軽にできるスポーツ教室等を開催する。

【事業の成果】

住民の教養等の向上及び生活文化の振興が図られる。

【令和4年度評価】

住民の関心度の高い趣味等を中心とした事業を実施し、社会教育の充実が図られた。

6. 財源の説明

【一般財源】 1.241千円

2	公民館費		所属	0101012800-0000	中央公民館		(単位：円)
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事 業 費	1,241	1,217	24	1,205	1,007	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	1,241	1,217	24	1,205		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	872	872	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	3	3	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	315	315	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	8	8	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	35	35	25 寄附金		
11 役務費	8	8	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,241	1,241

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		154	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	02目	021200000事業	泊地域各種事業
-----	-----	-----	-------------	---------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0264	湯梨浜みんなのげんき館事業			(簡略番号：043358)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】 町民一人一人が日常的に適度な運動を習慣づけるきっかけとして、湯梨浜みんなのげんき館のトレーニング器具を活用し、子ども、働く世代、女性そして高齢者まで幅広い世代の町民に運動・スポーツに参加できる機会を提供する。

【事業の必要性】フレイル予防など気軽に運動・スポーツに親しむことのできる環境を整備し、各種運動教室等の参加者を増やすことで、スポーツを通して生活習慣病の克服と健康寿命の延伸を目指す。

【事業の内容】（主なもの）

- | | |
|---------------------------|----------|
| ・運動指導員報酬・研修受講・協力隊活動費等 | 9,751千円 |
| 運動教室・健康講座・健康講演会の開催 | 540千円 |
| ・げんき館事業活性化支援委託（スタジオプログラム） | 3,000千円 |
| ・「スポーツの日」及び関連イベント開催 | 1,600千円 |
| ・町民スポーツ活動支援事業補助金 | 500千円 |
| ・高齢者トレーニング施設整備（施設改修・備品購入） | 43,096千円 |

2. 根拠法令

湯梨浜みんなのげんき館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【計画】湯梨浜みんなのげんき館の活用、「ゆりはまスポーツの日」の開催、「スポーツと健康のまち宣言（仮称）」などを行う。

【効果】運動・スポーツの習慣化を促進し健康課題の解決に向けた全町的な取り組みにつなげることができる。

【令和4年度評価】湯梨浜みんなのげんき館を開館し、運動・スポーツに親しむ環境を提供することができた。また、運動指導員を配置し、来館者への指導もできた。

6. 財源の説明

【国庫支出金】 29.942千円 【使用料】 997千円 【一般財源】 19.084千円

【地方債】15,400千円 【諸収入】394千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		(単位：千円)
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	65,817	33,322	32,495	16,016	
	国庫支出金	29,942	11,594	18,348	6,484	
	県支出金					
	地方債	15,400		15,400		
	その他	1,391	2,830	△1,439	748	
	一般財源	19,084	18,898	186	8,784	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,992	1,992	16 公有財産購入費		
02 給料	3,711	3,711	17 備品購入費	13,556	13,556
03 職員手当等	1,141	1,141	18 負担金、補助及び交付金	2,822	2,822
04 共済費	1,169	1,169	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	684	684	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	51	51	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	446	446	25 寄附金		
11 役務費	828	828	26 公課費	105	105
12 委託料	7,788	7,788	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	669	669	予備費		
14 工事請負費	30,855	30,855			
15 原材料費			合 計	65,817	65,817

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101238	地方創生推進交付金		11,594
国庫支出金	14020101246	デジタル田園都市国家構想交付	29,942	
使用料	13010602411	湯梨浜みんなのげんき館使用料	997	2,020
諸収入	20050302699	湯梨浜みんなのげんき館雑入	394	810
地方債	21010603022	一般補助施設整備等事業債（ト	15,400	

【補助金】

補助金等の名称 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

補助基本額	59,883	補助率	50.0%	補助金額	29,942
-------	--------	-----	-------	------	--------

【実施計画】

実施計画	部		155	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	02目	026400000事業	湯梨浜みんなのげんき館事業
-----	-----	-----	-------------	---------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0265	運動・スポーツ習慣化促進事業				(簡略番号：043888)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

羽合小の児童を対象に体育授業の一環としてオリンピック等から直接子どもたちが実技指導を受け、スポーツの大切さやインフルエンサーの役割を学んだのち、キッズ健幸アンバサダー（以下「KA」）として認定を受ける。

認定を受けた子どもたちは、自分の祖父母や地域の高齢者と一緒に体を動かしたり、スポーツの大切さを伝えることでスポーツ実施率の向上を図りスポーツによる健康づくりを促進するものである。

【事業内容】

- | | |
|----------------------|----------|
| ・ K A 事業実行委員会委員謝金 | 10 千円 |
| ・ 事業報告会参加旅費 | 145 千円 |
| ・ 消耗品費（参加記念品含む） | 228 千円 |
| ・ 通信運搬費 | 11 千円 |
| ・ K A 養成講座運営及び評価業務委託 | 4,156 千円 |

- ## 2. 根拠法令
- ### スポーツ基本法

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体力づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計画】 KAを養成し、家族や高齢者等に健康に関する情報を伝える。

【効果】 スポーツが苦手な子どもたちもスポーツを始めるきっかけとなることが期待される。家族や高齢者等に伝えることで、スポーツ実施により介護予防を目指した運動・スポーツの習慣化が期待される。

【令和4年度評価】

泊小学校、東郷小学校でK Aの養成講座を行うとともに、高齢者を招いての交流会や、親・祖父母・地域の高齢者に健康に関するアンケートを行った。

- ## 6. 財源の説明

【国庫支出金】 4,437千円（地方スポーツ振興費補助金） 【一般財源】 113千円

2 公民館費		所属 0101012800-0000		中央公民館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,550		4,550	4,026	
	国庫支出金	4,437		4,437	3,838	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	113		113	188	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	145	145	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	228	228	25 寄附金		
11 役務費	11	11	26 公課費		
12 委託料	4,156	4,156	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,550	4,550

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	地方スポーツ振興費補助金				
補助基本額	4,437	補助率	100.0%	補助金額	4,437

【実施計画】

実施計画	部		156	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 02目 026500000事業 運動・スポーツ習慣化促進事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0001	図書館經常經費				(簡略番号：015795)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	經常的經費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

図書・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに会計年度任用職員(2名)報酬及び光熱水費、建物共済等の施設の維持管理費。

(主なもの)	報酬	3,649千円	
	需用費	3,141千円	(雑誌購入426千円、光熱水費1,962千円他)
	役務費	1,003千円	
	賃借料	2,735千円	
	備品購入費	4,700千円	(図書購入費4,700千円)

【事業の必要性】

社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、市民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町立図書館設置条例、湯梨浜町立図書館管理運営規則

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次町総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

町民の学習意欲を促進し、豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめ住民の読書活動の促進が図られる。

【令和4年度評価】

利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。

町立図書館の一般利用者数 R4. 11月末現在 13,999人

一般貸出冊数 R4. 11月末現在 54,238冊

- ## 6. 財源の説明

【諸収入】 4千円

【一般財源】17,586千円

3 図書館費		所属 0101012900-0000		図書館	
区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計
財源内訳	事業費	17,590	16,529	1,061	16,972
	国庫支出金				27
	県支出金				
	地方債				
	その他	4	4		4
一般財源		17,586	16,525	1,061	16,941

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	3,649	3,649	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	4,700	4,700
03 職員手当等	729	729	18 負担金、補助及び交付金	28	28
04 共済費	774	774	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	25	25	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	104	104	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	3,141	3,141	25 寄附金		
11 役務費	1,003	1,003	26 公課費	7	7
12 委託料	695	695	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	2,735	2,735	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	17,590	17,590

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		156	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	03目	000100000	事業	圖書館經常經費
-----	-----	-----	-----------	----	---------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0114 羽合図書館事業				(簡略番号：015878)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに会計年度任用職員(1名)報酬、光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。

(主なもの)	報酬	1,825千円
	需用費	857千円
	賃借料	791千円

【事業の必要性】

社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、市民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町羽合図書室利用規程

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり）

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。

【令和4年度評価】

利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。

羽合図書室の一般利用者数 R4.11月末現在 4,410人

一般貸出冊数 R4.11月末現在 18,560冊

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 4,221千円

3 図書館費		所属 0101012900-0000		図書館		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,221	3,421	800	3,381	3,649
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,221	3,421	800	3,381	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,825	1,825	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	365	365	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	359	359	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	857	857	25 寄附金		
11 役務費	24	24	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	791	791	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,221	4,221

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		157	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	03目	011400000事業	羽合図書館事業
-----	-----	-----	-------------	---------

	現年	当初予算
（一）建設費	70,689,000	70,689,000
（二）維持費	1,000,000	1,000,000
（三）雑費	1,000,000	1,000,000
（四）その他	1,000,000	1,000,000
合計	73,689,000	73,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0202 しおさいプラザ経常経費				(簡略番号：019973)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

新聞・雑誌購入費及び図書検索システム保守経費並びに光熱水費及び建物共済等の施設の維持管理費。

(主なもの) 報酬 1,811千円 (会計年度任用職員1人)

需用費 1,054千円

委託料 290千円

賃借料	916千円
-----	-------

810119

【事業の必要性】

社会、経済、歴史、文学、児童図書、郷土資料など必要な資料・情報を提供し、町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献するため及び青少年をはじめとする住民の読書活動を支援するために必要である。

- ## 2. 根拠法令

しおさいプラザとまり設置条例、しおさいプラザとまり管理運営規

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

町民の学習意欲を促進し豊かな地域社会の実現に貢献することができる。また、文字・活字文化振興法の趣旨に沿った青少年をはじめとする住民の読書活動の促進が図られる。

【令和4年度評価】

利用者のニーズに沿った資料を購入し充実を図りながら、利用しやすい施設となるよう管理運営することができた。

しおさいプラザとまり 一般利用者数 R4.11月末現在 3,331人

一般貸出冊数 R4. 11月末現在 14,371冊

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】5,141千円

3 図書館費		所属 0101012900-0000		図書館	
区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計
事業費		5,141	4,866	275	4,871
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	5,141	4,866	275	4,871

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,811	1,811	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	362	362	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	397	397	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	86	86	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,054	1,054	25 寄附金		
11 役務費	225	225	26 公課費		
12 委託料	290	290	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	916	916	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	5,141	5,141

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		158	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 03目 020200000事業 しおさいプラザ経常経費

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	04	青少年育成対策費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯		
事業	大	0031 青少年育成町民会議補助金（簡略番号：015915）					区	分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	中						財	事業費	300	300		200	125
	小							国庫支出金					
	細							県支出金					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	經常	財	地方債					
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				その他					
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費				一般財源	300	300		200	

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	300	300
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	300	300

[illegible]

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

実施計画	部		158	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

29

	現年	当初予算
昭和十年度	602	602
昭和十一年度	789	789
昭和十二年	800	800
昭和十三年	800	800
昭和十四年	800	800
昭和十五年	800	800
昭和十六年	800	800
昭和十七年	800	800
昭和十八年	800	800
昭和十九年	800	800
昭和二十年	800	800
昭和二十一年	800	800
昭和二十二年	800	800
昭和二十三年	800	800
昭和二十四年	800	800
昭和二十五年	800	800
昭和二十六年	800	800
昭和二十七年	800	800
昭和二十八年	800	800
昭和二十九年	800	800
昭和三十年	800	800
昭和三十一年	800	800
昭和三十二年	800	800
昭和三十三年	800	800
昭和三十四年	800	800
昭和三十五年	800	800
昭和三十六年	800	800
昭和三十七年	800	800
昭和三十八年	800	800
昭和三十九年	800	800
昭和四十年	800	800
昭和四十一年	800	800
昭和四十二年	800	800
昭和四十三年	800	800
昭和四十四年	800	800
昭和四十五年	800	800
昭和四十六年	800	800
昭和四十七年	800	800
昭和四十八年	800	800
昭和四十九年	800	800
昭和五十年	800	800
昭和五十一年	800	800
昭和五十二年	800	800
昭和五十三年	800	800
昭和五十四年	800	800
昭和五十五年	800	800
昭和五十六年	800	800
昭和五十七年	800	800
昭和五十八年	800	800
昭和五十九年	800	800
昭和六十年	800	800
昭和六十一年	800	800
昭和六十二年	800	800
昭和六十三年	800	800
昭和六十四年	800	800
昭和六十五年	800	800
昭和六十六年	800	800
昭和六十七年	800	800
昭和六十八年	800	800
昭和六十九年	800	800
昭和七十年	800	800
昭和七十一年	800	800
昭和七十二年	800	800
昭和七十三年	800	800
昭和七十四年	800	800
昭和七十五年	800	800
昭和七十六年	800	800
昭和七十七年	800	800
昭和七十八年	800	800
昭和七十九年	800	800
昭和八十年	800	800
昭和八十一年	800	800
昭和八十二年	800	800
昭和八十三年	800	800
昭和八十四年	800	800
昭和八十五年	800	800
昭和八十六年	800	800
昭和八十七年	800	800
昭和八十八年	800	800
昭和八十九年	800	800
昭和九十年	800	800
昭和九十一年	800	800
昭和九十二年	800	800
昭和九十三年	800	800
昭和九十四年	800	800
昭和九十五年	800	800
昭和九十六年	800	800
昭和九十七年	800	800
昭和九十八年	800	800
昭和九十九年	800	800
昭和百年	800	800

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0210 青少年の家管理經常經費				(簡略番号：015922)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

施設自体は用途廃止したため、使用することはないが、最低限の維持管理が必要。

【事業の必要性】

青少年の家前の階段にある外灯の1年間分の電気料金が必要。また、建物を解体するまでは建物災害共済に加入する必要がある。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町立青少年の家の設置及び管理に関する条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(地域でつながり、生涯にわたり学び続ける環境づくり)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

施設としては使用しないが、最低限の維持管理を行う。

【R4年度事業評価】

青少年の家前の階段にある外灯の維持管理を行った。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 52千円

5	青少年の家費		所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯	
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	52	178	△126	178	141
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	52	178	△126	178	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	3	3	25 寄附金		
11 役務費	49	49	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	52	52

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		158	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 05目 021000000事業 青少年の家管理経常経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0010	文化財保護經常經費				(簡略番号：015978)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	經常的經費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

郷土に対する理解と愛着を育成するための文化財啓発事業（歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、文化財関連展示、小中学校ふるさと学習、ふるさと再発見事業等）を実施する。文化財保存修理等に係る文化庁との協議に要する旅費、及び文化庁・県への補助金等の申請等に係る郵送料。

報償費	32.000円	普通旅費	54.000円	需用費	20.000円
-----	---------	------	---------	-----	---------

印刷製本費 380,000円 役務費 10,000円 備品購入費 165,000円

【事業の必要性】

町の貴重な財産である有形・無形の文化財について周知し、文化財への理解を深めることで、郷土に対する愛着を育成するため。

- ## 2. 根拠法令

文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

歴史講演会、歴史民俗資料館展示解説、文化財見学会、小中学校ふるさと学習、文化財
関係展示等の実施。文化財の保存修理に係る文化庁協議。文化財ガイドブックの改訂。

【事業の効果】

町内の貴重な文化財について、町民の理解と愛着の促進が図られるとともに、町外者にも町の魅力をPRできる。

【令和4年度事業評価】

泊の歴史展と歴史講演会、博物館の企画展見学会、歴史民俗資料館展示解説、歴史ハイク等を実施し、地域の魅力を再発見し、町民の郷土愛を育むことができた。

- ## 6. 財源の説明

【諸収入】 11千円

【繰入金】 228千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

6 文化振興費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	661	195	466	195	42
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	239	69	170	88	
	一般財源	422	126	296	107	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	165	165
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	32	32	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	54	54	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	400	400	25 寄附金		
11 役務費	10	10	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	661	661

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		159	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	06目	001000000	事業	文化財保護經常經費
-----	-----	-----	-----------	----	-----------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大	0012 遺跡発掘等調査事業費	(簡略番号：015999)		
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経 臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内遺跡発掘調査等に係る事業

羽衣石城跡及び付城群学術調査委員会の開催、現地調査等の実施。

羽衣石城及び付城群総合調査報告書の作成。

【事業の必要性】

国史跡指定に向けた資料を集め価値付を行うため、令和3年から行っている羽衣石城跡等の遺構や遺物の調査研究等を行う。

2. 根拠法令

文化財保護法 鳥取県文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見)

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

羽衣石城跡及び付城群の国史跡に向けた調査及び学術調査委員会の開催。

羽衣石城跡及び付城群総合調査報告書の作成。

【事業の効果】

発掘調査の成果や文献資料等をまとめた報告書を作成することで、羽衣石城跡及び付城群の価値付けがなされる。国史跡指定に必要な資料となる。

【令和4年度事業評価】

学術調査委員会の開催や羽衣石城跡八幡平曲輪群の発掘調査等、国史跡指定に向けた調査研究を行うことができた。

6. 財源の説明

【国補助金】 1,000千円(埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金)

【県補助金】 500千円(埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金)

【一般財源】 3,442千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,942	2,293	2,649	2,944	6,455
財源内訳	国庫支出金	1,000	1,145	△145	1,145
	県支出金	500	572	△72	572
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,442	576	2,866	1,227

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,676	1,676	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	302	302	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	327	327	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	287	287	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	595	595	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	1,680	1,680	25 寄附金		
11 役務費	75	75	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,942	4,942

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020503001	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助	1,000	1,145
都道府県支出金	15020803004	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助	500	572

【補助金】

補助金等の名称	埋蔵文化財緊急発掘調査費国庫補助(50%)、鳥取県(25%)			
補助基本額	2,000	補助率	75.0%	補助金額 1,500

【実施計画】

実施計画	部		159	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 001200000事業 遺跡発掘等調査事業費

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	06 文化振興費
事業	大 0014 施設管理費 (簡略番号：016009)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

町内の文化財関連施設(橋津藩倉(古御倉・片山蔵・三十間北蔵)、長瀬高浜遺跡埴輪収蔵庫、羽衣石城模擬天守閣、旧岡本邸、トウテイランの里)の適切な維持管理を行う。町内の史跡(北山古墳、羽衣石城跡、橋津古墳群、橋津台場跡、河口城跡、宮内狐塚古墳、橋津藩倉周辺)の草刈を行う。

需用費 182,000円(一般消耗品、苗、光熱水費、修繕料)

役務費 214,000円(建物災害共済保険料)

委託料 2,519,000円(羽衣石城管理、史跡草刈、トウテイランの里管理
消防用設備点検)

【事業の必要性】

文化財関連施設及び史跡等の適正な維持管理を行うことで、町の貴重な文化財を損なうことなく将来へ伝えていくため。

2. 根拠法令

文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり(文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見) SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

文化財関連施設の適切な維持管理を行う。国県町指定史跡等の環境を整備する。

【事業の効果】

文化財関連施設や史跡等の維持管理・環境整備を適切に行い、いつでも安全・快適な利用に資することができる。町内の史跡や文化財を町内外に広くPRすることで、地域の活性化につながる。

【令和4年度事業評価】文化財の適切な保存及び景観保全が図られた。トウテイランの里にトウテイランを中心とした樹木と山野草の植栽ができた。

6. 財源の説明

【繰入金】552千円(天女のふる里・東郷湖「花」基金)

【繰入金】829千円(ふるさと湯梨浜応援基金繰入金) 【一般財源】1,534千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,915	2,849	66	2,849	1,850
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	1,381	1,332	49	1,592	
一般財源	1,534	1,517	17	1,257	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	182	182	25 寄附金		
11 役務費	214	214	26 公課費		
12 委託料	2,519	2,519	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,915	2,915

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	829	683
繰入金	18021501001	天女のふる里東郷湖「花」基金	552	649

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部 章 節 細節	159	実施計画 計上額
------	----------	-----	-------------

09款 04項 06目 001400000事業 施設管理費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0030	文化財保護団体育成補助金				(簡略番号：016031)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

文化財保護団体等に対し、保存・伝承・公開等に係る経費を補助するもの。
補助金 342,000円（補助率は経費の1/2以内）

《補助対象団体等》※町または県指定無形民俗文化財

・東郷浪人踊保存会（県指定）、橋津ふるさとの文化を守る会（町指定・茶町踊り・湊神社の祭礼行事）、宇野三ツ星盆踊り保存会（町指定）、泊大名行列保存会（町指定）、泊貝がら節保存会（町指定）

【必要性】

【重要注】
 貴重な町の無形民俗文化財の保護・伝承を図るため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護団体育成事業補助金交付要綱
湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

町内の指定無形民俗文化財保存団体（5団体）の活動費に対する補助を行う。

【事業の効果】

無形民俗文化財の保存・公開などについて活動している団体を支援することで、先人から受け継いだ文化遺産を次世代に継承することが可能となる。また、郷土文化を核とした地元住民の連携と交流の促進を図り、もって地域活性化に資することができる。

【令和4年度事業評価】

新型コロナの影響により湊神社の祭礼行事と泊大行列は活動できなかったが、その他保存会の活動に対し支援を行い、文化財の適切な保護が図られるとともに、地域の歴史文化を伝承していく機運の醸成につながった。またR3年度は新型コロナの影響により中止となった湯梨浜中学校で伝統芸能指導が、R4年度は再開することができた。

- ## 6. 財源の説明

【繰入金】 120千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金） 【一般財源】 222千円

6 文化振興費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	342	342		112	62
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	120	106	14	46	
	一般財源	222	236	△14	66	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	342	342
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	342	342

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		159	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 003000000事業 文化財保護財體育成補助金

	現年	当初予算
(一) 建設費	10,768,900	10,768,900
(二) 維持費	1,000,000	1,000,000
(三) 雑費	1,000,000	1,000,000
(四) 臨時費	1,000,000	1,000,000
(五) 予備金	1,000,000	1,000,000
(六) その他	1,000,000	1,000,000
合計	14,768,900	14,768,900

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目
事業	大	0130 尾崎氏庭園管理費補助金				(簡略番号：016091)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	經常
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

名勝尾崎氏庭園の維持管理（草取り、清掃、剪定、コモ囲い、防虫剤撒布など）
管理に係る補助

事業費 1,524,600円

町補助金 500,000円

事業費から県補助(304,000円)を除いた額(1,220,600円)に1/2を乗じた額
※上限50万円

【事業の必要性】

文化財の継続的な保全に資する。また、文化財の適切な保存管理を行うため

- ## 2. 根拠法令

文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

名勝尾崎氏庭園の植栽の管理及び借景の整備費への補助。

【事業の効果】

所有者の財政的な軽減を図ることで、文化財の継続的な保全に資することができる。

【令和4年度事業評価】

貴重な文化財の適切な保存が図られた。

- ## 6. 財源の説明

【繰入金】 175千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

【一般財源】 325千円

6	文化振興費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	500	412	88	412	355
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	175	128	47	171	
	一般財源	325	284	41	241	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	500	500
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	500	500

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		159	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013000000事業 尾崎氏庭園管理費補助金

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0134 尾崎家住宅管理費補助金				(簡略番号：032191)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	經常的経費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

- ①国重要文化財「尾崎家住宅」の維持管理経費（消防設備等）に係る補助。
事業費 70,000円(県50%、町25%、所有者25%)、町補助金 17,000円
- ②国重要文化財「尾崎家住宅」経年劣化及び鳥取県中部地震被害による保存修理事業に対する補助。※事業期間 H29年度～R8年度 10箇年
R5年度事業費 109,870,000円(国85%、県7.5%、町6.25%(内町嵩上げ2.5%)、所有者1.25%)
町補助金 6,866,000円
- ③尾崎家住宅保存修理事業の記録保存事業に対する補助。R5年度～R8年度
事業費111,540円×1/2 (町補助)、町補助金55,000円

【事業の必要性】

江戸中期以前に建築された歴史的建造物が損なわれないよう、維持管理及び経年劣化などによる破損箇所を修復し、適切な保存管理を行うため、記録を残し活用を図る。

- ## 2. 根拠法令

文化財保護法、湯梨浜町文化財保護条例、消防法、消防法施行規則

鳥取県文化財等保存、保護事業費補助金交付要綱、湯梨浜町文化財保護事業補助金交付要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見） SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

尾崎家住宅の消防設備点検費用の補助。尾崎家住宅保存修理事業（設計監理業務委託費、保存修理請負工事費等）の補助。尾崎家住宅保存修理事業の記録保存と活用費の補助。

【事業の効果】

所有所の負担を軽減することで、国重文建造物の継続的な保全と活用が可能となる。

【令和4年度事業評価】

貴重な文化財の適切な保存・維持管理が図られた。
主屋、附板蔵、附藁置場の工事を計画どおりに実施できた。

- ## 6. 財源の説明

【繰入金】 2,436千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金） 【一般財源】 4,502千円

6 文化振興費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	6,938	6,579	359	3,954	5,937
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	2,436	2,041	395	1,641	
	一般財源	4,502	4,538	△36	2,313	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,938	6,938
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	6,938	6,938

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		160	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 04項 06目 013400000事業 尾崎家住宅管理費補助金

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	04 社会教育費	目	07 歴史民俗資料館費
事業	大 0110 歴史民俗資料館経常経費 (簡略番号：016173)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の光熱水費、修繕費、建物共済及び消防設備保守点検・清掃委託料等の維持管理費。

(主なもの)

需用費 301,000円 (光熱水費)

役務費 47,000円 (建物災害共済基金分担金)

委託料 72,000円 (消防設備保守点検)

【事業の必要性】

施設の安全や快適な環境を維持し、来館者に良好に施設を提供するため。

2. 根拠法令

湯梨浜町歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）

SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

羽合歴史民俗資料館及び泊歴史民俗資料館の適切な維持管理を行う。

【事業の効果】

安全で快適な環境を維持することにより、施設を来館者に良好に提供することができる。

【R4年度事業評価】

両館とも新型コロナの影響から回復しつつあり、泊は中央公民館泊分館開館記念公開や公民館まつりでの公開により来館者が大幅に増加した。羽合は1階壁紙の貼り替えも実施し、施設を良好に提供することができた。

・入館者数 【羽合】R4見込250名 R3実績222名 【泊】R4見込110名 R3実績26名

6. 財源の説明

【使用料】15千円

【繰入金】143千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)

【一般財源】264千円

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	422	476	△54	476	410
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	158	160	△2	208	
一般財源	264	316	△52	268	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2	2
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	301	301	25 寄附金		
11 役務費	47	47	26 公課費		
12 委託料	72	72	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	422	422

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
使用料	13010602203	歴史民俗資料館入館料	15	18
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	143	142

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額
					160

09款 04項 07目 011000000事業 歴史民俗資料館経常経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	04	社会教育費	目	
事業	大	0110	風土記館經常經費			(簡略番号：016205)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	經常的經費			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】ハワイ風土記館及び馬ノ山公園を、来訪者が快適に見学等ができるよう適正に維持管理をする。

需用費 563千円 (消耗品費、光熱水費、修繕料)

役務費 99千円 (通信運搬費、建物共済)

委託料 3,052千円（機械警備委託、清掃・草刈・修繕等管理委託、窓ガラス清掃委託、消防設備保守点検委託）

【事業の必要性】ハワイ風土記館の周辺には橋津古墳群（国史跡指定）が点在し、また、戦国時代の砦も確認されており、歴史とロマンに満ちた場所である。東郷池や羽合平野を一望できることから、年間を通じて町内外から来訪者がある。適正な維持管理を行い、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場とする必要がある。

2. 根拠法令

ハワイ風土記館の設置及び管理に関する条例

ハワイ風土記館の設置及び管理に関する規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり（文化、伝統、豊かな自然の継承と再発見）

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】本館は歴史に関心のある人だけでなく、風光明媚であるためウォーキングコースとして来訪する人も多い。施設及び周辺の日常的な維持管理を行い、来訪者に美しい環境を提供する。

【事業の効果】適正な維持管理を行うことで、来訪者に美しい景観と歴史に触れていただく場を提供できる。

【R4年度評価】町シルバー人材センターに管理委託し、来訪者の満足度を高めるための適切な維持管理ができた。

6. 財源の説明

【諸 収 入】 15千円（風土記館望遠鏡使用料）

【繰入金】1,298千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

【一般財源】2,401千円

8	風土記館費		所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）	
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	3,714	3,580	134	3,638	3,190
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	1,313	1,121	192	1,518	
	一般財源	2,401	2,459	△58	2,120	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	563	563	25 寄附金		
11 役務費	99	99	26 公課費		
12 委託料	3,052	3,052	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	3,714	3,714

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		160	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	04項	08目	011000000	事業	風土記館經常經費
-----	-----	-----	-----------	----	----------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	
事業	大	0001	スポーツ推進委員報酬				(簡略番号：016269)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町スポーツ推進委員（全27名）に係る報酬及び費用弁償。

非常勤職員報酬 1,301,000円（会長53,000円/年、委員48,000円/年）

費用弁償 370,000円 (4,200円/回)

【事業の必要性】

生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し、町民へ向けてスポーツを行う機会を幅広く提供するとともにイベント行事などの運営協力を行い町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに資するために重要な役割りを果たしている。

- ## 2. 根拠法令

スポーツ基本法、湯梨浜町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
湯梨浜町スポーツ推進委員に関する規則

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

気軽に参加できるレクリエーション・ニュースポーツの指導に当り、もって町民の健康増進が図られる。

【令和4年度評価】

生涯スポーツの普及と促進を行うため軽スポーツ教室やウォーキング教室を定期的に開催し町民1人1スポーツの推進並びに町民の健康づくりに取り組んでいる。

- ・軽スポーツ教室の開催 9回（年12回のうち 3回中止）
- ・ウォーキング教室の開催 4回（年 5回のうち 1回中止）
- ・その他各種イベントへの運営協力、ニュースポーツの指導

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】 1,671千円

1 保健体育総務費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習係）	
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計
	事業費	1,671	1,675	△4	1,532
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,671	1,675	△4	1,532

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,301	1,301	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	370	370	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,671	1,671

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		161	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	05項	01目	000100000事業	スポーツ推進委員報酬
-----	-----	-----	-------------	------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	
事業	大	0014	スポーツ少年団運営事業			(簡略番号：016293)	
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－保－体育施設費等			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

町スポーツ少年団（20単位団）の指導者報償費及びスポーツ少年団の活動に対する補助金。

(単位団概要)

軟式野球2団、サッカー2団、ミニバスケットボール4団、卓球1団、バドミントン2団
バレーボール2団、ソフトテニス1団、剣道1団、柔道1団、硬式テニス1団、ドッジボ
ール1団、硬式野球1団、カヌー1団の計20団

報償費 1,200,000円 (5,000円/月、20名分)

需用費 123,000円（内容：交流大会経費、入団案内（冊子）作成費）

補助金 1,049,000円（内容：指導者の登録料、スポーツ保険掛金、各団強化補助金）

【事業の必要性】

スポーツを通して青少年の心身の健全な発育を図るために必要

- ## 2. 根拠法令

スポーツ基本法

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

スポーツを通して児童生徒の心身の健全育成が図られる。

【令和4年度評価】

全18団の活動に対し補助金交付を行い、活動しやすい環境整備を図りスポーツを通じた児童生徒の心身の健全育成が図られている。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動制限、交流大会(町駅伝)等の中止があったが年間を通して活動することができている。

- ## 6. 財源の説明

【諸 収 入】 7千円（スポーツ安全保険広告料）

【一般財源】2.365千円

1 保健体育総務費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯学習課）			
		区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	事業費	2,372	2,313	59	2,167	2,156	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	7	7		7		
	一般財源	2,365	2,306	59	2,160		

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,049	1,049
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	1,200	1,200	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	123	123	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,372	2,372

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		161	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	05項	01目	001400000事業	スポーツ少年団運営事業
-----	-----	-----	-------------	-------------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業	大 0031 町体育協会補助金 (簡略番号：016337)				
	中				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町体育協会が行う各種町民スポーツ大会・スポーツ表彰並びに郡民・県民スポレク祭等への派遣などに必要な経費に対する補助金。

補助金 4,200千円（全体事業費 4,651千円 会員会費451千円）

※令和5年度は湯梨浜町が郡民スポレク祭の開催町となる。

【事業の必要性】

町体育振興及び町民の健康増進並びに町活性化に資するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【効果】

町体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができる。

【令和4年度評価】

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止の町民大会もあったが、グラウンド・ゴルフ大会、軟式野球交流大会など、感染対策をし実施できた大会もあった。

郡民・県民スポレク祭等への参加を通じ、町の体育振興及び町民の健康増進並びに町の活性化に資することができた。

6. 財源の説明

【繰入金】2,818千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

【一般財源】1,382千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,200	4,200		3,300	3,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	2,818	2,942	△124	2,394	
一般財源	1,382	1,258	124	906	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,200	4,200
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,200	4,200

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,818	2,942

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額
---------	-------	-----	------

【実施計画】

実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額
					162

09款 05項 01目 003100000事業 町体育協会補助金

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09 教育費	項	05 保健体育費	目	01 保健体育総務費
事業	大 0032	ベテラン卓球大会 (簡略番号：016341)			
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経 経常
経費区分	未設定		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	教－保－体育施設費等	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

昭和54年から始まり、令和5年度で第45回を迎える。
毎年9月の第1土・日の2日間、あやめ池スポーツセンターを主会場として全国の40代以上の卓球愛好者、約300人を迎え、団体戦と個人戦を実施する大会の運営に要する経費の補助金。
また、宿泊先の斡旋、弁当の斡旋、梨の販売等にも取り組み、大会を通じて町の観光産業の振興、町の活性化も図る。
町補助金 550,000円

【事業の必要性】

生涯スポーツの普及と大会を通じた宿泊及び梨狩りなど、町の観光産業振興、町の活性化に寄与するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【計画効果】

町の賑わい、観光産業振興が図られる。

【令和4年度評価】

3年ぶりの開催ができた。7府県68人の参加であった。
来年度の大会へつながることができた。

6. 財源の説明

【一般財源】550千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	550	550		550	30
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債		500	△500		
その他					
一般財源	550	50	500	550	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	550	550
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	550	550

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010604015	過疎対策事業債(ベテラン卓球		500

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 003200000事業 ベテラン卓球大会

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	
事業	大	0127	ドラゴンカヌー事業				(簡略番号：023343)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

主に「ドラゴンカー大会」の開催補助金、カーの維持管理費及び東郷湖漁協と締結した「ドラゴンカー」の使用に伴う湖面占有補償金。大会は、H13年度に始まりR5年度で23回目となる。例年、町内外から約70チーム、観覧者等約千人が集う大会。H26年度より会場をはわい夢広場に移し、8月に毎年開催。H27年度より前夜祭を企画しナイトレースを実施することで参加者の宿泊利用者を誘致し、観光産業の振興、町の活性化にも取り組んでいる。

需用費643千円、補助金1,350千円（予定事業費2,884千円。内参加料650千円、広告協賛金400千円他）補償金375千円

【事業の必要性】

東郷池の活性化を図る事業として、また県内でも東郷池でしか取り組まれていない競技であり、広く親しまれ、町の活性化に大きく貢献しており、継続支援が必要。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
SDGs 目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

トドラゴンカヌー艇の維持管理、保全及び東郷池の魅力の一つとしての情報発信に資する。

【令和4年度評価】

今年は、3年ぶりに開催することができた。新型コロナの影響により、2部制にして、会場の人数を分散させて実施することができた。また、H28年度から町観光協会を主体に教育旅行プラン取り組み、県外中・高校生の修学旅行の誘致を行い、ゴルフカー競技への関心が高まっている。

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 3千円（ドラゴンカヌー使用料）

【一般財源】 2.365千円

1 保健体育総務費		所属 0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯		
区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,368	1,805	563	1,805	622
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他	3	3		3	
一般財源	2,365	1,802	563	1,802	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,350	1,350
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	375	375
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	643	643	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,368	2,368

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	05項	01目	012700000事業	ドラゴンカヌー事業
-----	-----	-----	-------------	-----------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	01	保健体育総務費
事業	大	0252	グラウンド・ゴルフ発祥地大会運営費補助金	(簡略番号：016572)				
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教－保－体育施設費等			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

6月10日(土)11日(日)に、『潮風の丘とまり』を会場として、全国のグラウンド・ゴルフ愛好者を対象に全国から576人(192チーム)を迎え、大会の運営経費の補助を行う。

町補助金 2,365,000円(事業費 4,104千円 内、参加費等1,739,000円)

主な経費 報償費 1,426千円(表彰、参加賞等)

需用費 581千円(消耗品、郷土料理材料費等)

通信料 128千円(郵券料等)

委託料 372千円(競技運営、クリーニング代等)

使用料 1,597千円(公園使用料、テント借上料等)

【事業の必要性】グラウンド・ゴルフ発祥の地をPRし、生涯スポーツの推進、町民との交流及び観光・産業振興を図るため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

にぎわいと活力あるまちづくり(観光の振興)

共に支え合う町民が主役のまちづくり(多様な交流の推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

全国各地からのプレーヤーとの交流はもとより、宿泊や特産品の販売など、観光と産業振興が図られる。また、グラウンド・ゴルフ競技の一層の普及が図られる。

新型コロナウイルス感染症対策のため大会規模を縮小して実施する。また、町内旅館への宿泊を促す。

【令和4年度評価】3年ぶりに開催することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により1チーム3名で開催。実績 県内119チーム、県外61チーム。来年度の大会へ向け準備を進めている。

6. 財源の説明

【繰入金】 65千円(グラウンドゴルフ発祥地大会基金)

【地方債】2,300千円(過疎対策事業債(グラウンドゴルフ発祥地大会))

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,365	2,665	△300	2,665	550
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債	2,300	2,600	△300	2,600	
その他	65	65		65	
一般財源					

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,365	2,365
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,365	2,365

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021101401	グラウンドゴルフ発祥地大会基	65	65
地方債	21010604004	過疎対策事業債(グラウンド・	2,300	2,600

【補助金】

補助金等の名称	補助基本額	補助率	補助金額
---------	-------	-----	------

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節		162	
	細節			

09款 05項 01目 025200000事業 グラウンド・ゴルフ発祥地大会運営費補助金

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	
事業	大	0254	グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金				(簡略番号：033522)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	經常的経費		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教一保一体育施設費等			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】本町発祥のグラウンド・ゴルフを世界に普及させるべく、海外へのPR活動を行うとともに、発祥の地での国際大会の開催の補助を行う。(参加予定者384名)

全体事業費	報償費	880千円(表彰副賞、参加賞等)
7,862千円	旅費	3,280千円(海外選手宿泊助成等 @5,000円/泊・人)
	需用費	2,223千円(事務費、郷土料理材料費等)
	役務費	200千円(郵券料、保険代)
	委託料	289千円(競技運営委託、ステージ看板設営等)
	委送料	990千円(公園使用料、テント借上料)

【事業の必要性】本町で開催される国際大会や延期後の会期が未定となっているがワールドマスターズゲームズ2027関西への機運醸成、インバウンドの促進など観光・産業振興のため。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
 （生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進）
 にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）
 共に支え合う町民が主役のまちづくり（多様な交流の推進）

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

- ①海外への普及促進・プロモーション活動（実行委員会への補助）
- ②グラウンド・ゴルフ国際大会の開催（実行委員会への補助）
- ③海外からの参加者への宿泊補助

【事業の効果】

発祥地として本町の国際的な認知度を向上、外国人宿泊客を確保することができる。

【令和4年度評価】新型コロナウイルスにより海外からの選手参加の大会は中止。国内・県内外国籍の方を中心に10/29、30、11/27にGGYURIHAMA2022を実施、好評を得た。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】4,709千円

1	保健体育総務費	所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）		
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,709	4,709		1,240	486
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債		4,700	△4,700		
	その他					
	一般財源	4,709	9	4,700	1,240	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,709	4,709
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	4,709	4,709

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025400000事業 グラウンド・ゴルフ国際大会運営費補助金

	現年	当初予算
（一）建設費	70,689,000	70,689,000
（二）維持費	1,000,000	1,000,000
（三）雑費	1,000,000	1,000,000
（四）その他	1,000,000	1,000,000
合計	73,689,000	73,689,000

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目
事業	大	0259 ねんりんピック2024事業				(簡略番号：043855)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

2024年(R6)に鳥取県での開催が決定したねりんピックにおいて、本町でグラウンド・ゴルフ競技を開催する。大会のPRやリハーサル大会(発祥地大会と共催)を行うものである。

【事業の必要性】

2024年(R6)のねりんピック開催(グラウンド・ゴルフ競技)の大会PR・準備のためのリハーサル大会の開催のために必要である。

- ## 2. 根拠法令

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】

志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

大会開催のPR、リハーサル大会を開催する。

【事業の効果】

2024(R6)年の開催に向けた準備をすることができる。

【令和4年度評価】

先催県の視察を行い、実施状況や準備について確認することができた。

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】 300千円（ねんりんピック2024事業補助金）

【一般財源】 300千円

1 保健体育総務費		所属 0101012700-0000		生涯学習・人権推進課（生涯		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	600		600	143	
	国庫支出金					
	県支出金	300		300	108	
	地方債					
	その他					
	一般財源	300		300	35	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	600	600
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	600	600

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	ねんりんピック2024事業補助金				
補助基本額	600	補助率	50.0%	補助金額	300

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 05項 01目 025900000事業 ねんりんピック2024事業

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	05	保健体育費	目	
事業	大	0009	体育施設管理經常經費				(簡略番号：016581)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	經常
經費区分	未設定			事業の種類	未設定		
補助单独区分				目的区分	教－保－体育施設費等		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

社会体育施設の維持管理に係る経費（北溟体育館、羽合野球場、泊体育館、泊テニ
ス場、泊野球場、泊相撲場、東郷体育館、羽合西コミュニティ、東郷運動場）

報償費	10千円
-----	------

2.761千円（消耗品費、光熱水費、修繕料）

2,101千円（消耗品費、光熱水費、修繕料）
629千円（郵券料、手数料、建物共済負担金）

委託料 1,109千円（消防設備点検、施設清掃・除草など）

使用料及び賃借料 222千円（AEDリース、乗用草刈機借り上げ）

使用料及○賃借料	222千円
原材料費	30千円

【事業の必要性】

町民1人1スポーツを実現するための施設として、良好に提供するため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町社会体育施設の設置及び管理に関する条例・施工規則

小学校及び中学校体育館並びに社会体育施設等の照明灯交換基準要綱

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)

SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【計畫效果】

施設の良い提供ができる。

【令和4年度評価】

社会体育施設の定期的な維持管理業務を行い、利用者へ良好な施設提供を行い町民1人1スポーツの実現に向けて取り組んでいる。

・年間利用者数 8施設 延べ16,472人（見込） R3実績 11,504人

- ## 6. 財源の説明

【使用料】 481千円（体育施設使用料）

【繰入金】2.871千円（ふるさと湯梨浜応援基金繰入金）

【一般財源】1,409千円

2	体育施設費		所属	0101012700-0000	生涯学習・人権推進課（生涯学習課）	
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	4,761	4,419	342	3,522	2,650
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	3,352	3,350	2	2,630	
	一般財源	1,409	1,069	340	892	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	10	10	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	2,761	2,761	25 寄附金		
11 役務費	629	629	26 公課費		
12 委託料	1,109	1,109	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料	222	222	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	30	30	合 計	4,761	4,761

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		162	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	05項	02目	000900000	事業	體育施設管理經常經費
-----	-----	-----	-----------	----	------------

令和 5年度 001 一般会計
現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費		項	05	保健体育費		目
事業	大	0010	体育施設管理臨時経費					(簡略番号：016650)
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31			新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分	未設定			事業の種類	未設定			
補助単独区分				目的区分	教一保一体育施設費等			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】

社会体育施設の改修等を行う。
泊体育館耐震改修工事及び同工事監理業務委託
東郷体育館照明改修工事
泊テニス場フェンス改修工事

【事業の必要性】

老朽化した各施設の改修等を行い、利用者に良好な施設を提供するため。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって共に学び明日を拓くひとづくり
(生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進)
SDGs 目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」

5. 本年度の計画効果

【計画】社会体育施設の改修等を行う。

【効果】良好な施設を提供し、スポーツに親しむきっかけづくりに資することができる。

【令和4年度評価】

旧東郷中解体工事（体育館周辺）、東郷体育館のトイレ及び駐車場整備、北溟体育館トイレ改修工事を実施した。利用者に安全安心な施設提供に努めるとともに、スポーツ振興を図ることができた。

6. 財源の説明

【国庫補助】 8,272千円(住宅・建築物耐震改修等事業補助金)[泊体育館耐震化事業]

【地方債】 3,300千円(過疎対策事業債)[東郷体育館LED化事業]

【地方債】 44,900千円(過疎対策事業債)[泊体育館耐震化事業]

【地方債】 2,200千円(過疎対策事業債)[泊テニス場施設整備事業]

【一般財源】 632千円

区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	59,304	84,218	△24,914	71,914	67,618
財源内訳					
国庫支出金	8,272		8,272		
県支出金					
地方債	50,400	81,100	△30,700	70,000	
その他					
一般財源	632	3,118	△2,486	1,914	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費	440	440
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	2,944	2,944	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	55,920	55,920			
15 原材料費			合 計	59,304	59,304

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020402201	住宅・建築物耐震改修等事業補	8,272	
地方債	21010604002	緊急防災・減災事業債（東郷体		18,900
地方債	21010604003	緊急防災・減災事業（北溟体育		22,300
地方債	21010604006	過疎対策事業債（泊体育館施設	44,900	
地方債	21010604013	過疎対策事業債（泊テニス場施	2,200	
地方債	21010604014	過疎対策事業債（東郷体育館駐		39,900
地方債	21010604018	過疎対策事業債（東郷体育館照	3,300	

【補助金】

補助金等の名称		補助率	補助金額
補助基本額			

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

163

09款 05項 02目 001000000事業 体育施設管理臨時経費

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	
事業	大	0010	人権教育総務経常経費				(簡略番号：016784)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3.31			新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常の経費			事業の種類	未設定		
補助単独区分				目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

町内の人権教育を推進するために設置する町人権教育研究推進員（全7名）の報償費及び全国集会等参加に係る県外出張旅費及び資料代等。会計年度任用職員1名の給与。

報酬	1,721千円	手当等	340千円	共済費	358千円	報償費	51千円
旅費	102千円(全国人権・同和教育研究大会)	需用費	36千円	役務費	9千円		

【必要性】

全国各地で部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決を図るため取り組んでいる事例や成果を学ぶこと及び人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図るため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
湯梨浜町人権教育研究推進員の設置及び運営に関する規則

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画・実施計画】人権教育の推進、人権啓発の推進
SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

- ## 5. 本年度の計画効果

部落差別をはじめあらゆる人権問題の早期解決に向け、各地で取り組んでいる諸集会での事例、実践、研究発表等を学ぶことにより、今後の町の人権教育・啓発の推進が図られる。町や県の取り組みを広く町民に周知することにより人権教育・啓発の推進が図られる。

【令和4年度評価】

部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権尊重社会を実現することをめざして、全国各地の事例や成果を学んだ。また人権教育研究推進員による事業評価等を通して、町の一層の人権教育推進を図った。

- ## 6. 財源の説明

【一般財源】2.617千円

1	人権教育総務費		所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課（人権	
	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	事業費	2,617	2,705	△88	2,613	2,396
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	2,617	2,705	△88	2,613	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,721	1,721	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	340	340	18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費	358	358	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	51	51	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	102	102	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	36	36	25 寄附金		
11 役務費	9	9	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,617	2,617

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画	部		163	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	06項	01目	001000000	事業 人權教育總務經常經費
-----	-----	-----	-----------	---------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目	
事業	大	0034	人権教育推進活性化事業				(簡略番号：016827)
	中						
	小						
	細						
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常	
経費区分	未設定		事業の種類	未設定			
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費			

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

人権意識向上のための啓発を目的とし、県委託事業として実施する町民のつどい(映画上映)、人権教育推進大会(公演)、ゆりはま人権セミナー(3回予定)、障がい者スポーツ体験教室の報償費、旅費、需用費(主に講師・劇団・手話通訳者への謝礼、旅費)。
 報償費 134千円 旅費 28千円 手数料 143千円

【必要性】

部落差別をはじめあらゆる差別をなくすため、年間を通して計画的に人権教育・啓発事業を行うことで、町民に対し人権感覚の向上と人権尊重意識の向上を図るため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする条例
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画】 人権啓発の推進
SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

- ## 5. 本年度の計画効果

【效果】

人権尊重の重要性の再認識、人権問題を自分の問題として捉えること及び人権尊重の意識向上が図られる。

【令和4年度の事業評価】

講演会、ゆりはま人権セミナー等の開催により町民の人権意識の向上に資することができた。

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】 295千円

【一般財源】 10千円

1 人権教育総務費		所属 0101013000-0000		生涯学習・人権推進課（人権		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	305	488	△183	161	30
	国庫支出金					
	県支出金	295	463	△168	135	
	地方債					
	その他					
	一般財源	10	25	△15	26	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	134	134	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	28	28	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	143	143	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	305	305

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	人権啓発活動委託費				
補助基本額	295	補助率	100.0%	補助金額	295

【実施計画】

実施計画	部		164	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款	06項	01目	003400000	事業 人權教育推進活性化事業
-----	-----	-----	-----------	----------------

現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	09	教育費	項	06	人権教育費	目
事業	大	0136 町人権教育推進協議会事業				(簡略番号：016931)
	中					
	小					
	細					
事業期間	令 5. 4. 1～令 6. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	教－社会教育費		

【事業概要】

- ## 1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、町人権教育推進協議会が実施する、ゆりはま人権セミナー、町民のつどい、人権教育推進大会等の研修や講演、人権標語の募集、地域部会を中心に各集落で行われる人権教育座談会等に係る講師謝金や旅費等の経費に係る補助。

補助金 1,591,000円（内、3地区人権教育推進協議会分1,030,000円）

【必要性】

様々な人権問題が依然として存在している現在、町民に対して行政・学校・家庭・職場・地域社会が連携して人権教育に関する研修や啓発活動を継続的に推進し、人権問題に対する正しい理解を深め、人権尊重意識の向上を図るため。

- ## 2. 根拠法令

湯梨浜町部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくする条例
人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

- ### 3. 用地の状況

- #### 4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】志をもって 共に学び 明日を拓く ひとづくり(人権教育の充実)

【あらゆる差別をなくする総合計画】 人権啓発の推進

SDGs 目標10「人や国の不平等をなくそう」

- ## 5. 本年度の計画効果

町民の人権問題に対する正しい理解が深められ、また人権尊重意識の向上が図られる。

【令和4年度評価】

部落差別をはじめあらゆる差別の解消に向けて、小・中学生からの人権標語の募集等を含め町民対象の人権教育講演会や各種研修会等を開催し、行政・学校・職場・地域社会とが連携して人権教育を推進することができた。

- ## 6. 財源の説明

【県支出金】 333千円（市町村創生交付金）

【一般財源】1.258千円

1	人権教育総務費	所属	0101013000-0000	生涯学習・人権推進課（人権		
財源内訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事 業 費	1,591	1,650	△59	701	62
	国庫支出金					
	県支出金	333	455	△122	196	
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,258	1,195	63	505	

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,591	1,591
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	1,591	1,591

【特定財源の内訳】

[illegible]

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	1,591	補助率	21.0%	補助金額	333

【実施計画】

実施計画	部		164	実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

09款 06項 01目 013600000事業 町人権教育推進協議会事業